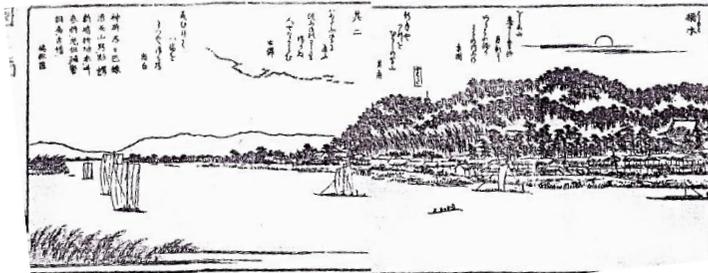


前回の江戸時代の上津屋村の続きです。領主は幕府領と三条家、大炊御門家で、庄屋は各領主ごとに置かれ(幕府領からは2人、あとは1人ずつ)里方と浜方にいたが、東向きにはいなかった。村全体のことは庄屋4人全員で決めたそうです。木津川の両岸に集落があるために渡し舟は必要だったんですね。これは上津屋村だけの話ではなく、当時船は主要な交通手段でした。今では想像するしかありませんが、次回は船にまつわるお話をされます。

図11



(橋本渡し口)

- ① 日時 2024年2月15日(木)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07

5-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。